

決算特別委員会

市政の詳細について

畜産総合センターについて

問 畜産総合センターが完成したがどのような形でスタートするのか。

答 市、J A、ノウサイ、畜産振興公社の4者が、畜産の課題解決に取り組んでいく。

問 10月から始動するそうだが、その取り組みに際し、人的配置は大丈夫か。

答 最終調整の段階だ。

問 本来このような事業において、J Aが指導的立場で積極的にやっていくのが良い方向と考えているが。

答 J Aは吸収合併されたばかりであり、営農指導、畜産指導等を当面市がリードしていく。

農業後継者育成について

問 農業後継者育成に力を入れるべきと思うが、どの

部署で取り組むか。

答 市とJ Aで職員を出し合っている担い手支援センターのアドバイザーが後継者づくりに努めている。

問 支援センターの事業は、認定農業者や団体に限られているが、新たな就農者や農業後継者をどのように育てていくのか。農業担い手支援総合対策事業等により、九戸村等の取り組みを検証すべきでは。

答 アスト起農塾でも新規就農に技術指導を支援している。20年度は8名の新規就農者を確保。八幡平市の例もあるが、今後は緑峰高校と連携し、新規就農者に対する技術指導等のあり方を協議する。

「とぴあ」へのテナント誘致について

問 「とぴあ」のテナント数は。

答 平成20年度当初は35店舗で、21年度は1店舗減の34店舗である。

問 以前からの空き店舗に加え空き店舗が増え、寂しい状況だ。今後の誘致対策は。

答 管理業務を委託している遠野商業開発の管理業務理事、市関係部署、市内有識者とで、「とぴあ」空き店舗対策委員会を設置し、現在検討している段階。

問 今後「とぴあ」はどんな店舗づくりを目指しているのか。

答 基本的には、「とぴあ」の中で衣食住すべてが満たされるような施設を目指し、そのために店舗の誘致を図っていく。

新町水路について

問 新町水路の整備について、地域の要望は、どの程度取り入れられたのか。

答 地元への説明会等で出された要望は、でき得るかぎり設計に反映させた。

問 一日も早い着工そして完成が望まれているが完成予定日は。

答 工事は3年計画で行われる予定なので3年後には完成の見通しだ。

情報公開について

問 情報公開条例の改正にあたって、「市民」を「何人」(いかなるひと)にも公開する、としたのは、新聞紙上に当市の情報公開度が13市中12番目と報道された事によるものと理解しているが、北海道二セコ町では窓口で5分と待たずに情報が公開されるといいますが、当市の場合。

答 総務課に情報公開の申請をして頂き、15日以内に公開することになっている。

消防団について

個人情報の保護を考慮しながら、市民の知る権利、行政との情報の共有、さらに透明性の確保等、課題山積であるが、公開のさらなるスピードアップを検討していく。

問 機能別消防団員の所属は分団となるようだが、部の所属の方が活動し易いのではないか。

答 これから規則等を検討する段階で消防団の意見も参考にしながら進めたい。

問 平成20年度から団員報酬が各自の口座に振り込みとなった結果、各部で大変苦勞しているようだが、希望者だけでも部の口座に振り込みできないか。

答 会計課とも相談しながら検討したい。